

ハルモニたちは踊る | 在日コリアン一世が歩んだ道

2001
作品ナンバー 0606

シリーズ在日外国人問題の原点を考える ①歴史編

文部科学省選定 2001年教育映像祭優秀作品賞

日本に暮らす外国人と心を通わせ、共に生きる社会を築くには何が
必要かを問う「シリーズ在日外国人問題を考える」は、本作①歴史
編に続いて、

②現状編『オモニの想い 在日コリアンの戦後、そして今』(30分)、

③展望編『出会い 在日コリアン三世と日本の若者たち』(30分)

の3部作で制作された。

在日コリアン一世、二世、三世それぞれの体験や想いが当事者の生
の声で伝わってくる。



在日コリアン二世の徐玉子（ソ・オクチャ）さんは、一世のハルモニ（おばあさん）たちの介護を続ける中で、彼女たちの半生を知るようになった。家が貧しいため、11歳の時、たったひとりで朝鮮半島から日本に移り住んだ李正児（イ・ジョンア）さん、10歳で紡績工場へ働きに行かされた金小順（キム・ソスン）さんなど、過酷な少女時代を送ったハルモニたちは、苦しい時も悲しい時も、歌い踊ることで、たくましく生き抜いてきた。

日本の朝鮮植民地支配のため、意に反して日本で暮らさざるをえなくなった在日コリアンの歴史を、日本人に正しく知ってもらうことが共生への第一歩と考え、徐玉子さんはハルモニたちの人生を記録に残すことを始めた。

記録
ビデオ
カラー／31分

■企画
（社）大阪国際理解
教育研究センター

スタッフ

①歴史編

■製作

村山英世

■脚本・演出

原村政樹

■撮影

木村光男

■撮影助手

今野聖輝

■編集協力

吉田栄子

■ネガ編集

加納宗子

■音楽

徳永由紀子

関 栄治（グループ

黎明）

■語り

細田百合子

②現状編

■語り

原田芳雄

③展望編

■語り

緒方智美